

日南市の全国学力・学習状況調査(令和5年度)結果について

日南市教育委員会

皆様におかれましては、日頃から本市の教育活動に御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

令和5年4月18日(火)に、全国の小学6年生(国語・算数)、中学3年生(国語・数学・英語)を対象とした「全国学力・学習状況調査」が行われました。

今回の調査では、中学校の英語「話すこと・聞くこと」においてCBT[Computer Based Testing]方式を取り入れた調査が実施され、子どもたちは、解答用紙への記入ではなく、タブレット端末の画面で回答したり、音声を録音して回答したりするなど、コンピューターを用いた調査にも挑みました。

今年度の調査結果より、本市における対象学年の児童生徒が、どのような学力・学習状況にあるのか、現状と課題をまとめましたので、概要をお知らせいたします。

全国学力・学習状況調査の問題等は、
国立教育政策研究所のホームページ
で御覧いただけます。

【 URL 】

<https://www.nier.go.jp/>

全国学力・学習状況調査結果の概要

日南市における小学6年生、中学3年生の全国学力・学習状況調査(国語、算数・数学)の結果は、小学校、中学校ともに全国的な水準にあと一步という状況です。以下に、小学6年生と中学3年生の調査結果から「おおむね理解している内容と課題が見られる内容」について、ご紹介します。

小学6年生 調査結果から

国語	【おおむね理解している内容】 ◇文章の種類とその特徴について理解している。[問題番号1の四(選択式)] ◇目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する。[問題番号2の一(選択式)]
	【課題が見られる内容】 ◆図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。[問題番号1の二(記述式)] ◆複数の資料を読んで理解したことを関連付けながら、自分の考えをまとめる。[問題番号2の四(記述式)]
算数	【おおむね理解している内容】 ◇伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、示された表の中の適切な数の組を用いる。[問題番号1の(2)(短答式)] ◇正方形の意味や性質について理解している。[問題番号2の(2)(短答式)]
	【課題が見られる内容】 ◆高さが具体的に示されていない複数の三角形について、それらの面積の大小を判断するのに必要な情報を見だし、その理由を記述する。[問題番号2の(4)(記述式)] ◆百分率で表された割合について理解している。[問題番号4の(1)(選択式)]

中学3年生 調査結果から

国語	【おおむね理解している内容】 ◇目的や場面に応じて質問する内容を検討する。[問題番号1の一(選択式)] ◇事象や行為、心情を表す語句について理解している。[問題番号2の一(選択式)]
	【課題が見られる内容】 ◆具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。[問題番号3の三(短答式)] ◆文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える。[問題番号4の三(記述式)]

数学	<p>【おおむね理解している内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇数と整式の乗法の計算をする。〔問題番号2(短答式)〕 ◇問題場面における考察の対象を明確に捉える。〔問題番号6の(1)(短答式)〕 <p>【課題が見られる内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆複数のデータ分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する。〔問題番号7の(2)(記述式)〕 ◆ある事象が成り立つことを構想に基づいて証明する。〔問題番号9の(1)(記述式)〕
----	---

英語	<p>【おおむね理解している内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇情報を正確に聞き取ることができる。〔問題番号1の(1)及び(2)(選択式)〕 ◇事実と考えを区別して読むことができる。〔問題番号5の(2)(選択式)〕 <p>【課題が見られる内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆社会的な話題について、自分の考えやその理由などを書く。〔問題番号8の(2)(記述式)〕 ◆未来表現や疑問文の特徴を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる。〔「話すこと」問題番号1の(2)及び(3)(口述式)〕 ◆社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話す。〔「話すこと」問題番号2(口述式)〕
----	--

児童質問紙・生徒質問紙から

全国学力・学習状況調査では、学習に向かう態度や学習を支える環境など学習状況について、多様な観点の調査がされています。全国の結果と比較して、本市公立小学校・中学校へ在籍する児童・生徒に共通する特徴的な内容をご紹介します。

- 特に顕著であった内容は、授業で、ICT機器をどの程度使用したかの問いに対して、「週3回以上」の使用状況を回答している割合が8割を超えており、全国平均を20%以上、上回っている。また、9割以上の児童・生徒が、「ICT機器を使うのは勉強の役に立つ」へ肯定的な回答をしている。
- 「自分に良いところがある」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」「道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」の問いに対する肯定的な回答の割合が、全国平均値より高い。
- 「家で自ら計画を立てて勉強をしている」「新聞を読んでいる」「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う」の問いに対する肯定的な回答の割合が、全国平均よりやや低い。

結果をいかした今後の取組のイメージ

